



【ADB 中尾総裁と林市長がフィリピン・セブ市への連携支援について表明】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 5 月 26 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

横浜市と ADB の連携によりフィリピン・セブ市及びベトナム・ダナン市での取組が始まりました

横浜市とアジア開発銀行 (ADB) は、アジアにおける持続可能な都市づくりに向けた連携を推進しています。

5 月 4 日～7 日に横浜で開催されたアジア開発銀行 (ADB) 年次総会を契機に、企業のインフラビジネスへの参入機会の拡大に向けて ADB との連携を一層強化していきます。

その一環として、新たにフィリピン・セブ市及びベトナム・ダナン市での廃棄物処理の改善プロジェクトに取り組むことが年次総会開催中に発表されました。

(詳細は ADB のホームページからご覧いただけます！)

<https://www.adb.org/ja/news/adb-provides-ppp-support-cebu-city-philippines>



(年次総会オープニングセレモニーの様子)

横浜インターナショナルスクールの生徒が横浜港を見学しました

横浜インターナショナルスクール (YIS) 6 年生の 51 人が 5 月 16 日に横浜港を訪問し、マリンシャトルに乗船して港内を見学しました。

YIS には、横浜の貿易について学ぶカリキュラムがあり、巨大なコンテナ船や荷捌き用クレーンの迫力のある動きや、輸出待ちの自動車がぎっしりと並ぶ様子など、授業で習う内容を実際に見ることで楽しく理解を深めることができました。



また、港湾局職員から横浜港の歴史や、貨物の輸出入について説明があり、生徒たちは熱心に質問を寄せていました。



チャリティーウォーク「WFP ウォーク・ザ・ワールド」で 4 千人が横浜を歩きました

5 月 14 日にチャリティイベント「WFP ウォーク・ザ・ワールド」が、国連 WFP 協会主催で開催されました。

本市が後援したこのイベントには、4400 人以上が参加し、みなとみらい地区や横浜マリンタワー、馬車道など横浜ならではの景色を眺めながらウォーキングを楽しみました。



また、国連 WFP によると、このイベントで多くの方からご協力いただいた 400 万円以上の募金によって、子どもたちが健康に学校へ通い続けるための学校給食を約 14 万人に届けることができるそうです。

